

2025 年 11 月 26 日

受験者および関係者 各位

杏林大学

2026 年度 保健学部 学校推薦型選抜、外国人留学生選抜試験における試験問題の誤りに関するご報告とお詫び

令和 7 年（2025 年）11 月 23 日（日）に実施いたしました学校推薦型選抜および外国人留学生選抜の入学試験におきまして、適性検査「数学」の設問で問題文の解釈によって複数の正答が成立する状況であったため、適切に解答できないことが判明しました。つきましては、下記のとおり措置をいたしましたので、ご報告申し上げます。

受験者の皆様ならびに関係各位には、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。本学では、出題にあたって細心の注意を払って問題作成をしておりますが、点検の体制について見直しを行うとともに再発防止に努めてまいります。

記

1. 試験日

2025 年 11 月 23 日（日）

2. 対象学部

保健学部

3. 試験科目、設問

適性検査 数学、問 53

4. 内容

本問は、2 つの独立した試行におけるそれぞれの事象に対してどのような性質が成り立つかを扱った問題です。その中で条件付き確率に関する命題の真偽を扱っていますが、少なくとも一部の教科書では「条件付き確率は同一の試行内で生じる事象に対してのみ定義される」とされており、異なる試行で生じる事象には通常定義されません。このため、「定義されていない以上、命題自体が意味をなさない」と解釈する立場と、「2 つの試行を 1 つの試行として統合すれば条件付き確率を定義できる」と解釈する立場が生じ得ます。その結果、解釈の相違によって複数の正答が成立しうる状況が生じてしまいました。

5. 対応措置

当該設問について、いずれの解答も正答であるとして採点を行いました。

合否判定前に判明したため、本措置によって合否判定が変わることはありません。

以上